

医療人の集い

日 時：10月9日（木）18：30～20：30

会 場：釧路市観光国際交流センター 1階 大ホール

医療人の集い

第1日目 10月9日（木）18：30～20：30

釧路市観光国際交流センター 1階 大ホール

「医療人の集い」は、日本赤十字社医療部が主催する、全国の医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。今年も、釧路市観光国際交流センターで開催されます。今年も、全国の医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。今年も、全国の医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。

開催趣意

医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。今年も、全国の医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。今年も、全国の医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。

講演

講演のテーマは「医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。今年も、全国の医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。今年も、全国の医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。」

演奏（にざわい）

演奏のテーマは「医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。今年も、全国の医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。今年も、全国の医療従事者の交流の場として、毎年開催されています。」

『医療人の集い』

日 時：10月9日（木）18：30～20：30

会 場：釧路市観光国際交流センター 1階 大ホール（ホールA～C）

参加費：3,000円

当日参加申し込みされる方は、総合案内「当日参加受付」にてお申し込みください。

北海道くしろ蝦夷太鼓

北海道は、歴史が浅いため郷土芸能が少ないと言われています。「蝦夷太鼓」はこの北海道の数少ない郷土芸能の一つとして、昭和42年に霧の都、釧路市に生まれました。

北海道では、一番古いアマチュアの芸能太鼓集団でもあります。和太鼓を素材に、北海道の大自然の中に生きる人々の生産と生活そして、祈りを演奏のテーマに据え表現し、活動を続けております。昭和62年には釧路市文化賞をそして、平成14年度には北海道文化奨励賞を授賞し、これまで地元はもとより、全道、全国の各種イベントなどに数多く出演し、2度の国立劇場出演、平成19年3月には、世界3大ホールと称される、札幌コンサートホール kitara、で単独公演を実施、フランス、スペイン、中国、ロシアなど12回に及ぶ海外公演を果たしその勇壮な響きは、行く先々で熱い感動を与えております。

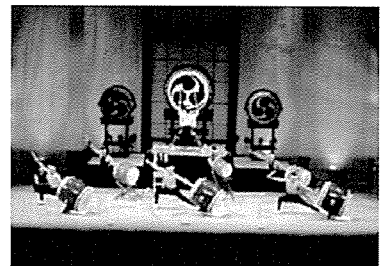
『大漁祈願太鼓』

13年連続日本一の水揚げを誇った港町『釧路』を象徴した曲です。大漁、それ以上に無事の帰りを願い見送る家族の祈りを背に、出漁する船団。漁場では網を起す男たちの〔沖揚げ木遣り〕がやがて、大漁旗をなびかせ、魚を満載した船が寄港する。北の海がいつの日も豊潤であることを願いソーラン節のリズムに乗せ表現したものです。



『夏まつり』

釧路の夏の風物詩「海霧」が街中を漂い、訪れる人たちを幻想的な世界にいざなう。短い夏を惜しむ釧路人は、威勢の良い掛け声とともに神輿を担ぎ出し、霧を払うように祭りを創り出します。若者の打ち出すエネルギーで釧路の夏はさらにヒートアップしていきます。躍動する太鼓のリズムは、釧路の街・人・自然の元気を表現したものです。



『賑（にぎわい）』

「テレック、テンテン」という日本古来のリズムを基本に構成されたこの曲は、素朴でとても幸福感あふれる曲です。太鼓の音色にパーカッションの音色が次第に増して行き、一層の楽しいにぎわいを演出します。各演奏者のそれぞれの思いが、家内安全、無病息災・豊作豊漁への願いや祈りを取りこみます。

